



深谷赤十字病院

病院の概要

- 病床数 506 床
- 医師数（研修医を除く）77 名（うち指導医数 33 名）
- 研修医数 1 年目 7 名 2 年目 5 名
- 研修医の主な出身大学 千葉大学・群馬大学・信州大学・帝京大学・富山大学・新潟大学・弘前大学・三重大学
- 診療科 内科 総合診療内科 精神科 神経内科 消化器科 循環器科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 麻酔科 救急診療科 放射線診断科 放射線治療科 緩和ケア外科 病理診断科 歯科口腔外科
- 1 日平均外来患者数 773.6 名 ● 1 日平均入院患者数 362.6 名
- 主な認定施設 救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、第二種感染症指定病院



研修プログラムの特色

深谷赤十字病院は、埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。

当院の研修プログラムの特徴は、第一に「病院規模に対して研修医定員枠が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や指導医（上級医）が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起りません。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、2 年間で多くの臨床経験を積むことができます。

第二に「研修医の要望に応じ融通性のある研修スケジュール・科目を組むことができる（＝自由度が高い）こと」です。2 年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。

また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にはとても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。



プログラム 例 ▶▶▶ 深谷赤十字病院卒後初期臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目 ▶	内科						麻酔科	救急部	非必修科ローテ	外科		
2 年目 ▶	希望選択科						地域医療	希望選択科				

【必修科目】

内科：一般内科（2ヶ月）、循環器科、消化器科、神経内科、血液内科（各1ヶ月）

救急：救急（3ヶ月）※2年間の救急外来当直で1ヶ月分相当

地域医療：研修協力施設（1ヶ月）

【選択必修科目】

麻酔科（1ヶ月）、外科（2ヶ月）

研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1 年次：35 万円 / 月（賞与 10 万円 / 年）、2 年次 40 万円 / 月（賞与 30 万円 / 年）
- 諸 手 当 ▶ 宿直勤務手当 1.8 万円 / 回（1 年次 10 月から支給し、10 月までは半額を支給）、住居手当 最高 2.85 万円 / 月
- 保 険 ▶ 各種社会保険（健康、厚生年金、雇用、労災）適用
- 勤 務 時 間 ▶ 8 時 30 分～17 時
- 当 直 ▶ あり（4～5 回 / 月）
- 休 暇 ▶ 土曜・日曜・祝日・創立記念日（11 月 1 日）・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）・年次有給休暇（1 年次 10 日・2 年次 11 日）、夏期休暇 3 日（7 月 1 日～9 月 30 日）、その他の休暇は病院囑託・臨時職員就業規則の定めによる
- 宿 舎 ▶ なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・小川赤十字病院（比企郡小川町）
- ・原町赤十字病院（群馬県吾妻郡）
- ・佐々木病院（深谷市）
- ・深谷整形外科医院（深谷市）
- ・内田ハートクリニック（深谷市）
- ・井上こどもクリニック（深谷市）
- ・おおしまクリニック（深谷市）
- ・こくさいじクリニック（深谷市）
- ・皆成病院（深谷市）
- ・埼玉よりい病院（大里郡寄居町）

当院の魅力

研修医一人ひとりのオーダーメイド



当院の研修では、『研修医は〇〇しなくてはいけない』という決まりはありません。研修医がその科で何を目標として、何をやるのかは毎回その科の指導医と相談して決められます。

例えば、朝の採血・点滴のラインどりをはじめ、どのような手技を重点的にやるのか、どのような患者さんを受け持つのかも一方的に決められるのではなく、自分の希望を指導医に伝えて相談したうえで決めています。当院がこのようなオーダーメイドの研修を行えるのは、病院の規模に対して研修医の数が少なく、それにより各研修医の希望に合わせたプログラムを組めるよう、病院全体で研修医を育てようという体制を整えているからです。

診療科は25科あり、研修する科においてカンファレンスが定期的に行われています。また、英文の抄録会を月1回研修医が持ち回りで行っており、研修期間中でもまとまった量の英語論文を読む機会もあります。

このように、研修医一人ひとりが自ら考えて研修期間の診療科選択や研修内容を構築できるため、同じ診療科の研修でも十人十色の内容になります。

研修責任者から

message



院長（プログラム責任者）
伊藤 博

当院は地域の基幹病院として高い専門性と一般性を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験を積むことができます。

初期臨床研修は、将来何科に進むにせよ、診療の基本的知識・技能と臨床医として必要な態度・習慣を学ぶ大切な期間であります。

患者さん、コメディカルとのコミュニケーションなどは、次第に裁量権の増していく医師にとってはこの時期に身につけねばならない臨床医として大切な態度・習慣です。知識と技術は専門分野で研鑽を積むにつれ確実に増えていきますが、態度・習慣は逆に疎かになりがちです。

当院では、研修医に実践してもらおうのを原則にしていますので、技術的SKILL UPが体感できると共に、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば温かみのある研修環境を目指しています。

今専門医制度が大きく変わろうとしていますが、初期臨床研修は単なる専門医への前段階でなく、先に述べたように臨床医としての心構えを形成する大事な期間です。当院での研修を通じ、患者さんを中心にコメディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれる事を願っています。

先輩研修医から

message



研修医2年目
小野 壮登

当院の研修プログラムは自由度がとても高く、研修医一人ひとりの意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長です。2年目に希望選択科を長く選ぶことができるため、将来希望する診療科が定まっている人も、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人も融通を利かせられるプログラムであることが特徴です。

当院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科や病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少なめなので、研修医一人当たりが経験できる症例や手技が豊富にあります。

また、救急当直では1次救急から3次救急まで研修医が全てファーストタッチで診察し、上級医の指導のもと主体的に診断や治療を完結することができるため、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。病院スタッフの方もみな温かく接していただき、アットホームな雰囲気の中で研修をできるのも魅力の一つです。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております！

女性医師支援コーナー

当院は、女性職員への支援制度として以下の特別有給休暇制度を就業規則で定めています。

- ・産前産後休暇（母子保健法の定めによる勤務免除含む）
- ・生理休暇 ・育児休業（育児短時間勤務含む）
- ・子の看護のための休暇 ・院内保育園

平成28年度より院内保育所が開園（利用対象は、生後2ヶ月から小学校就学前まで）しました。職員であればどなたでも利用可能なため、子育て中の職員が安心して仕事に専念できます。

その他の福利厚生については、お問い合わせください。



連絡先

深谷赤十字病院

人事課

〒366-0052 深谷市上柴町西5-8-1

TEL ▶ 048-571-1511（代表） FAX ▶ 048-573-5351

E-mail ▶ jinji@fukaya.jrc.or.jp

URL ▶ <http://www.fukaya.jrc.or.jp/>

アクセス ▶ 高崎線深谷駅からバス8分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付中ですので、お気軽にお問い合わせください（HPから申込みができます）。プログラム責任者が直接・丁寧に当院の研修プログラムの特徴をお伝えします。また、研修医への質疑応答や施設案内、実際の研修場面の見学などもできます。

レジナビフェアで皆様とお会いできるのを楽しみにしております！